

## 科目別 電験三種 演習問題集 電力 初版 の正誤表

題記の書籍の初版に、下表に示す誤記がありましたので、深くお詫びすると共に、お求め頂きました書籍の訂正をお願い致します。

著者 ; 柴 崎 誠

## 正 誤 表 ( 1 / 2 )

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P44 「模擬問題」 の設問文の 2行目	・・・であり、発熱量が <u>44000[kJ/kg]</u> の重油を毎時 30[t] 消費していた。この汽力・・・各問 に答よ。	・・・であり、 <u>この蒸気を毎時 30[t]</u> 消費していた。この汽力・・・各問に 答よ。 <u>ただし、重油の発熱量は</u> <u>44000[kJ/kg]</u> であるものとする。
P57 の 1 行目 【答】の部分	【答】(a) (4)、(b) <u>(2)</u>	【答】(a) (4)、(b) <u>(3)</u>
P58 「応用問題」 の設問の(2)	汽力発電方式の方が、単位出力当 たりの排ガス量が <u>少ない</u> 。	汽力発電方式の方が、単位出力当 たりの排ガス量が <u>多い</u> 。
P60 「ヒント」 3 下から 2 行目	蒸気タービンユニットの効率 $\eta_G$ [pu]を乗算して、・・・	蒸気タービンユニットの効率 $\eta_S$ [pu]を乗算して、・・・
P64 「模擬問題」 (b)の設問文	(b) 燃焼に必要な <u>1 日間</u> の理論 空気量[Nm <sup>3</sup> ]の値・・・	(b) 燃焼に必要な <u>1 時間</u> 当りの理論 空気量[Nm <sup>3</sup> ]の値・・・
<b>P68 の(1)式</b>	・・・ = $m$ [kg] × (3 × 10 <sup>8</sup> ) <sup>2</sup> _____	・・・ = $m$ [kg] × (3 × 10 <sup>8</sup> ) <sup>2</sup> [ <u>m<sup>2</sup>/s<sup>2</sup></u> ]
P74 の(3)項の文 18 行目	・・・左側縦軸の発電__流 $I$ [A]	・・・左側縦軸の発電 <u>電</u> 流 $I$ [A]
P81 の 4 行目、 図中、図の表題	<u>疎調整</u>	<u>粗調整</u>
P118 「模擬問題」 設問の図 1 の中	変圧器 B の $\%Z_B = 7.5 \%$	
P119 の(1)式	$\%Z_B = 7.5 \times \frac{7.5 \text{ [MVA]}}{10 \text{ [MVA]}} = 5.625\% \text{ (1)}$	$\%Z_B = 8.7 \times \frac{7.5 \text{ [MVA]}}{10 \text{ [MVA]}} = 6.525\% \text{ (1)}$
P119 の図 2 の中	変圧器 B の $\%Z_B = 7.5 \%$	変圧器 B の $\%Z_B = 8.7 \%$
P120のヒント1行目	【ヒント】 <u>変換</u> 負荷法により	【ヒント】 <u>返還</u> 負荷法により
P133の下から7行目	・・・の発生量)を <u>増加</u> させている	・・・の発生量)を <u>減少</u> させている。
P143 の(6)式	(6)式の単位が <u>[V]</u> になっている	(6)式の単位を <u>[pu]</u> に訂正する
P145 の(14)式	右辺の分子の変数が <u>P</u> になっている	右辺の分子の変数を <u>P<sub>n</sub></u> に訂正する
P147 の 18 行目	現象__いいます。	現象 <u>と</u> いいます。
P151 の 17 行目	成し、直流__ <u>線路の故障時</u> には交直変換 装置と直流送__線路とを・・・	成し、直流 <u>送電線路の故障時</u> には交直変換 装置と直流送 <u>電</u> 線路とを・・・
P157 の(4)式	(4)式の単位が <u>[V]</u> になっている	(4)式の単位を <u>[pu]</u> に訂正する

正誤表 ( 2 / 2 ) へ続く

正 誤 表 ( 2 / 2 )

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P163 の(7)式	誤 ; $\frac{1[\text{kW}] \times 15[\text{h}] + 2[\text{kW}] \times 1[\text{h}] + 10[\text{kW}] \times 8[\text{h}]}{24[\text{h}]} = 4.042[\text{kW}]$ (7) 正 ; $\frac{1[\text{MW}] \times 15[\text{h}] + 2[\text{MW}] \times 1[\text{h}] + 10[\text{MW}] \times 8[\text{h}]}{24[\text{h}]} = 4.042[\text{MW}]$ (7)	
P167 の(1)式	$= \frac{1}{-j1000} \times 100 = +j1.0[\%]$ (1)	$= \frac{10}{-j1000} \times 100 = +j1.0[\%]$ (1)
P167 の(4)式	$I_n = \frac{1000[\text{kV} \cdot \text{A}]}{\sqrt{3} \times 33[\text{kV}]} = 175[\text{A}]$ (4)	$I_n = \frac{10000[\text{kV} \cdot \text{A}]}{\sqrt{3} \times 33[\text{kV}]} = 175[\text{A}]$ (4)
P174 のヒント 5 行目	・・・書くべきところを・・・	・・・書くべきところを・・・
P186 の 6 行目	・・・先に <u>図 5</u> で示した低圧バン	・・・先に <u>図 3</u> で示した低圧バン
P192 の(6)式	$V_{SA} + u_N = V_{LA} + u_B$ [V] (6)	$V_{SB} + u_N = V_{LB} + u_B$ [V] (6)
P193 の(7)式	$V_{LA} = V_{SA} + u_L - u_B$ [V] (7)	$V_{LB} = V_{SB} + u_N - u_B$ [V] (7)
P193 下から4行目	の 12[A]及び <u>6</u> [A]は一定値・・・	の 12[A]及び <u>8</u> [A]は一定値・・・
P218 の模擬問題 の設問文	(a) ・・・点 N と点 B の間に <u>接続してある単相負荷に加わる電圧 <math>V_{LB}</math> [V]</u> の	(a) ・・・点 N と点 B の間に <u>現れる電圧 <math>V_{LB}</math> [V]</u> の
P218 の【ヒント】	問(a)の「 <u>単相負荷に加わる電圧値</u> 」	問(a)の「 <u>点 N と外線の間に現れる電圧値</u> 」
P218 の解説文の 1 行目	・・・、 <u>各配線部分</u> に現れる電圧[V]の値とその方向・・・	・・・、 <u>点 N と各配線部分の間</u> に現れる電圧[V]の値とその方向・・・
P234 の(3)式	$Q_C = 3 \times \frac{V[\text{V}]}{3} \times I_C [\text{A/m}]$	$Q_C = 3 \times \frac{V[\text{V}]}{\sqrt{3}} \times I_C [\text{A/m}]$
P237 の(6)式	$v = \frac{c}{\sqrt{\epsilon_r}} = \frac{3 \times 10^8}{\sqrt{\epsilon_r}}$ [m/s]	$v = \frac{c}{\sqrt{\epsilon_s}} = \frac{3 \times 10^8}{\sqrt{\epsilon_s}}$ [m/s]
P264 の 1 行目	日本 <u>工業</u> 規格 (JIS)	日本 <u>産業</u> 規格 (JIS)
P265 の 1 行目	日本 <u>工業</u> 規格 (JIS)	日本 <u>産業</u> 規格 (JIS)
P265 の下から 7 行目	最高連続使用温度の値が <u>R 種の 220[°C]</u> を超える絶縁材には、	最高連続使用温度の値が <u>250[°C]</u> を超える耐熱クラスには、
P269 の 15 行目	・・・渦状の被誘 <u>電</u> 流 $I_e$ [A]	・・・渦状の被誘 <u>導</u> 電流 $I_e$ [A]

以上